

## 男女共同参画社会の 実現を目指して



年号が平成から令和に変わるとすぐに、あらゆる分野で新型コロナウイルス感染拡大が影響を及ぼし、現在も続けております。

1年延期の末、令和3年夏に開催された「東京オリンピック・パラリンピック」では、基本コンセプトのひとつに、あらゆる面での違いを肯定し、自然に受け入れ、互いに認め合うことで社会は進歩するとして多様性と調和の気運の醸成が図られました。

このような中、国は「男女」に限らず、年齢も国籍も、性的指向・性自認（性同一性）に関すること等も含め、幅広く多様な人々を包摂し、誰一人取り残されることのないような社会の実現に向けて、令和2年12月に第5次男女共同参画計画を策定しました。

五島市においても、社会情勢の変化や第3次五島市男女共同参画計画の進捗状況等を踏まえながら、ここに第4次五島市男女共同参画計画を策定いたしました。本計画では新たな課題に対応すべく、「女性が参画しやすい環境づくり」や「無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）」などを組み込んだ5つの基本目標を掲げております。また、「第2期五島市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略」の個別計画であります。

計画策定にあたり金言至言をいただいた五島市男女共同参画審議会の委員の皆様をはじめ、ご協力くださった多くの市民の皆様に心からお礼申し上げます。

本計画を推進し、実効あるものとするためには、市民、事業所及び関係団体の皆様と市がそれぞれの役割を認識し、結集して取り組んでいくことが重要です。

市民の皆様誰もが“私”らしく幸福に暮らすことができる、平和で豊かで持続可能な地域社会の実現に向けて取り組んでいきましょう。

令和4年3月

五島市長 野口 市太郎